

砂漠の血管、 命の水道管。

中東・砂漠の国々「発展を続ける中東各国の都市はしかし、一歩を踏み出せばそこに広大な砂漠の広がる、灼熱の街でもある。そこにある共通した問題「命を支える水」を安定的に確保すること、は、急務の課題として、人々を悩ませ続けてきた問題でもある。

「過酷な中東の環境下、広大な砂漠を編み、運ぶ水から、淡水化した水を、その水質を損なうことなく安定的に運ぶことは出来ぬのだろうか」

クボタは、そんな高い壁に、真つ向挑戦しています。

アラブ首長国連邦、クワート、カタール「砂漠に広がる中東各国の「国家的上水道プロジェクト」の水を運び続けるという、艱難の役目を託されたのは、総長数キロに及ぶ長さのダクトパイプ装置でした。それは、過酷な砂漠の環境にも耐えうる「卓越した品質性」が十年にわたりその地で培った「掘るが困難な地質」、長さ九メートルの鉄管を作りつづいた、「世界唯一の技術性」としてついに、クボタのダクトパイプ装置は、これら途方もない国家プロジェクトの「翼を、過酷な砂漠の地中で奮然に開くことになったのです。

最高気温50℃を超える、激しい灼熱の大地。今日もクボタは、その地中深くで、その地に仕込む人々の「命を支える水」運び続けている。物言わず、人目につかない砂漠の何処かで。

壁がある。
だから、行く。